

釧路南ロータリークラブ会報

第10回 例会報告 2018.9.14 通算1739回

《移動例会 ぷらっと 946 献血ルーム→日本橋》

・幹事報告

- * 共栄光陽サッカー少年釧路コンバットより全国大会へ出場し「全国ベスト 8」と言う好成績の結果報告とお礼状が届いております。
- * 釧路北RCより創立 60 周年記念式典への出席についてお礼状が届いております。
- * 釧路北RACより例会案内が届いております。
- * 根室RC・浜中RC・厚岸RC、各クラブより会報と9月プログラムの案内が届いております。
- * 釧路市民活動センターより、わっと便りが届いております。

移動例会のため、各資料は通常例会場にて回覧させていただきますのでご一読ください。

・入会式

新入会員 堤 達也君 (S49.12.1生)
居酒屋 達 代表 飲食業



「堤達也様入会おめでとうございます。」



亀岡会長よりロータリーバッジの授与

・本日のプログラム

「献血例会」移動例会

担当 職業奉仕委員会





「そば処日本橋」にてお食事



「そば処日本橋」にてお食事



「そば処日本橋」にてお食事

輸血用血液製剤の供給状況と疾病別輸血状況

平成 29 年度は 727 件の医療機関へ血液製剤をお届けしました。
その内、供給量が一番多かった医療機関には、15,892 本の血液製剤をお届けしました。

平成29年度
輸血用血液製剤の供給状況

血液製剤	規格	供給本数
赤血球製剤	200mL由来	9,942本
	400mL由来	186,687本
	合計	196,629本
血漿製剤	200mL由来	1,241本
	400mL由来	50,462本
	成分製自由来	7,050本
合計		58,753本
血小板製剤		41,145本
総合計		296,527本

※200mL献血および400mL献血については赤血球製剤と血漿製剤が造られます。



教えて！輸血医療のこと！



- Q.** 札幌北陸病院では年間何人くらいの患者さんが輸血を受けていますか？
- A.** 平成29年は約850人の患者さんが輸血を受けました。その内、がん(悪性新生物)の治療で輸血を受けた患者さんが大半を占めています。
- Q.** なぜ、輸血用血液製剤の多くはがんの患者さんの治療に使われるのですか？
- A.** がんの治療をする際には、抗がん剤やそのほかの薬をたくさん使います。その薬の副作用によって、赤血球や血小板を作ることができなくなるため、多くの輸血が必要になります。
- Q.** 患者さんにとって「血液」とはどんなものですか？
- A.** 当院には血液疾患の患者さんがたくさんいらっしゃいます。癌気そのものや、抗がん剤の影響で貧血症状が強くなった患者さんは輸血することで体の辛さが和らぎます。出血しやすい症状の強い方は、血小板を輸血することで出血の心配が少なくなり、生命の危険から逃れられることもあります。患者さんにとって「血液(献血)」とは、まさに命をつなぐ大切な贈り物だと思います。

社会福祉法人 定例会
札幌北陸病院
造血細胞移植コーディネーター
山崎 奈美恵さん

献血資料



・次回のプログラム

9月21日(金)

「秋の清掃奉仕例会」

会場 未定~おってご案内いたします 12:30~

担当：環境青少年委員会

今週の会報担当：佐野実会員